



巻頭の辞

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-08-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 船山, 仲他 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/1061

巻頭の辞

『大阪府立大学言語文化研究』が生まれました。

これまで、『英米言語文化研究』（廃刊）、『独仏文学』（廃刊）、『人文学論集』に投稿してきた大阪府立大学総合科学部総合言語文化学科の教員が、新しい紀要を創刊することになりました。これは、学科の改組を機に紀要のくくり方を変え、学科構成員の研究成果発表の新しい枠組みを作ろうとするものです。大学のあり方が内外で問われる状況の中で、われわれの着実な研究活動を報告する場として本誌を大いに活用していきたいと考えています。

世界の言語文化が多様であるように、言語文化の研究も多様です。言語文化が人間の活動の極めて広い範囲に関わるように、言語文化の研究も極めて幅広い対象を相手にします。言語の働きや実態に注目するアプローチもあれば、文化を支える文学や思想に注目するアプローチもある、という具合にさまざまなアプローチが可能です。

本誌に収録される研究論文も、そのような多様性を反映し、言語文化にいろいろな光を当てることになるでしょう。同時に、個々の鋭い切り口から言語や文化の個別相に迫ることは、人間の営為をもたらす言語文化一般の基層を明らかにすることにもつながるでしょう。『言語文化研究』として諸研究を真に総合化することは、時間のかかることかもしれませんが、世界の理解にとっては重要な試みと言えるでしょう。

本誌に収められた研究論文がそれぞれの研究分野に貢献すると共に、本誌が全体として言語文化研究の地平を広げることにつながることを願いながら、本誌を世に問うていきたいと思えます。

総合言語文化学科主任 船山 伸 他